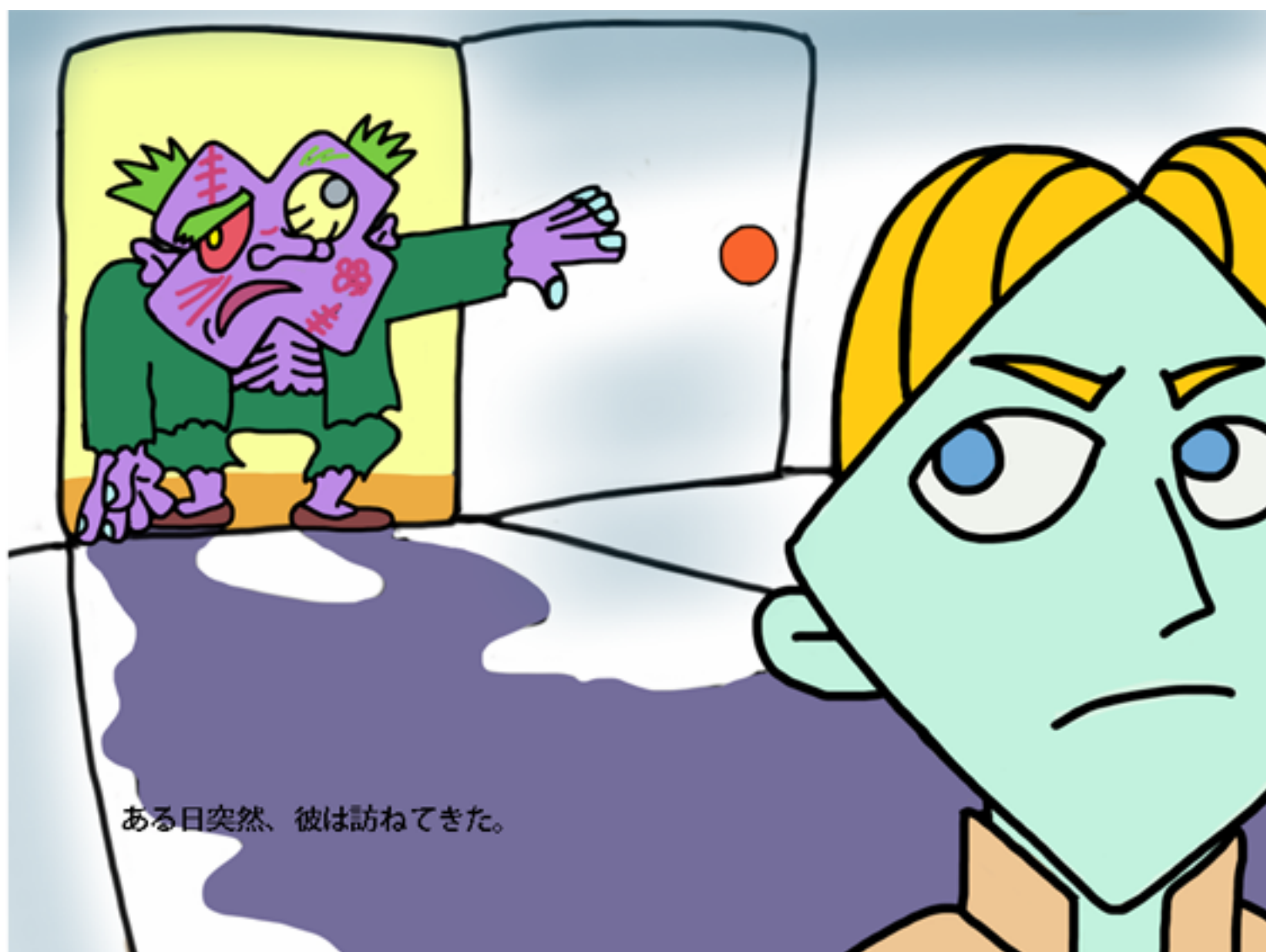




メアリー・シェリー 原作

青年フランケンシュタイン

文／絵 しいたどる



ある日突然、彼は訪ねてきた。

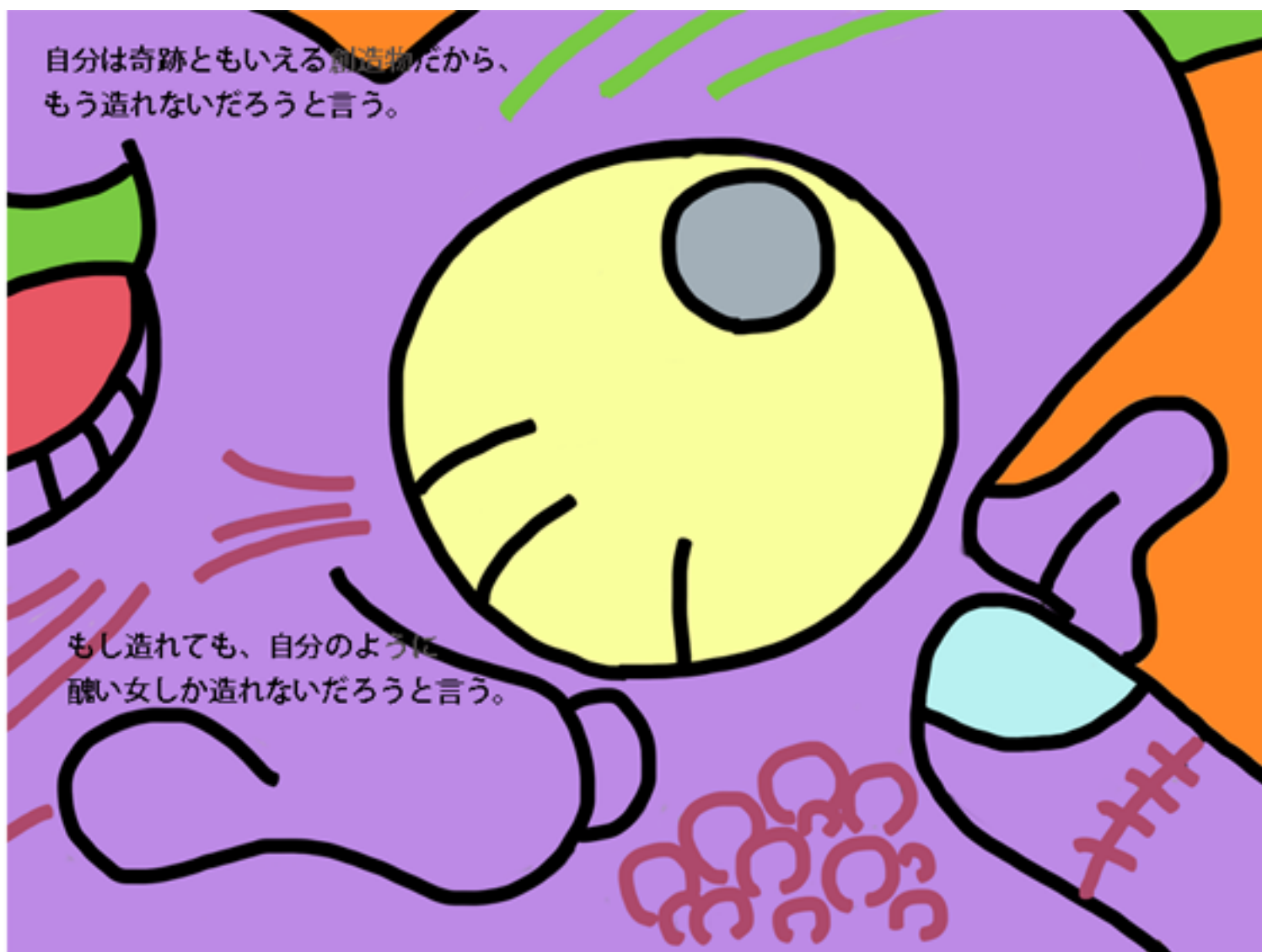
自分と同じ女を造ってくれと言う。

普通の男女のように、愛し愛されたいと言う。



自分は奇跡ともいえる創造物だから、
もう造れないだろうと言う。

もし造れても、自分のように
醜い女しか造れないだろうと言う。



創造主に向かって、なんと言う暴言。

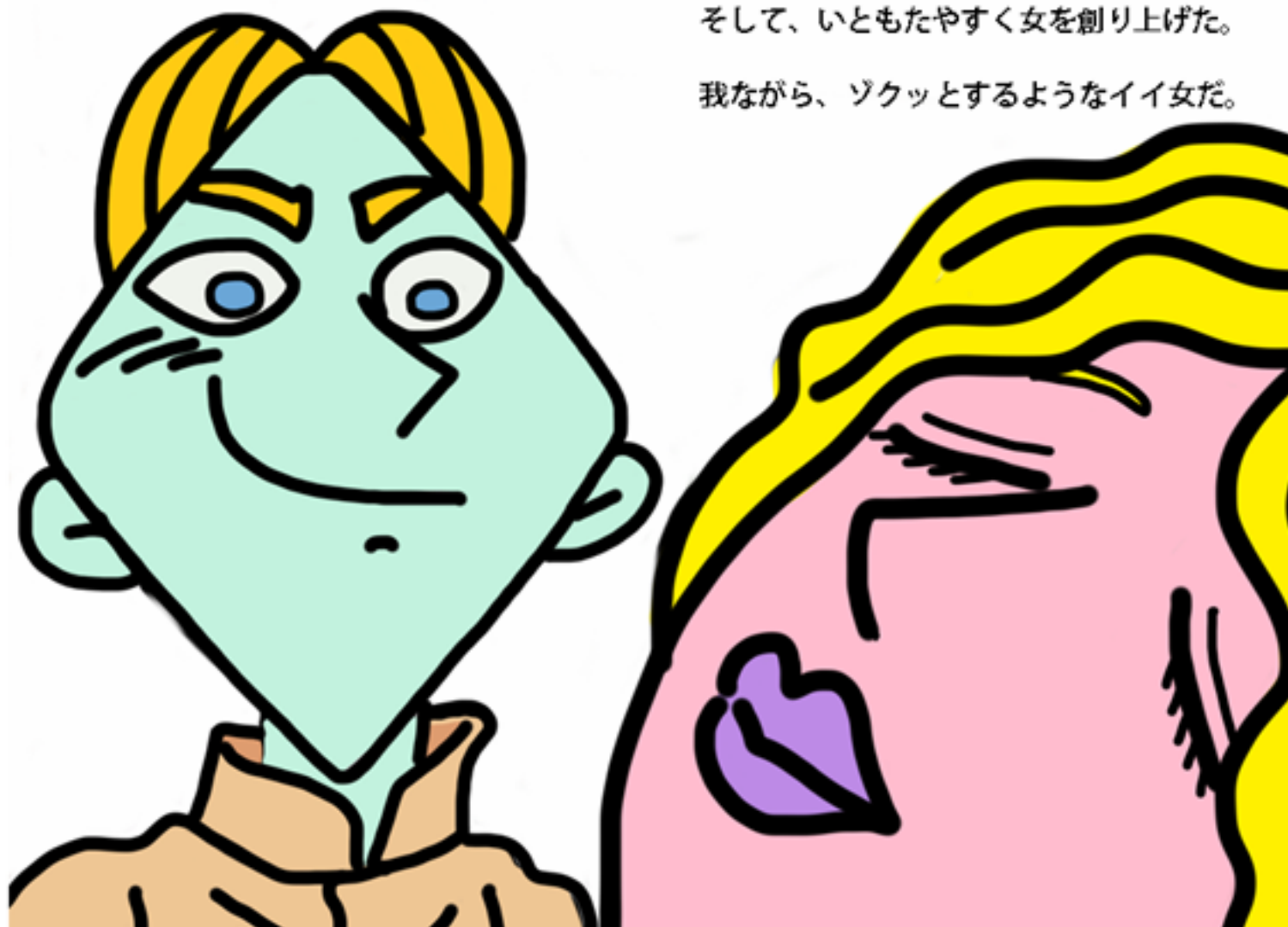


私は墓を暴くのに66日と6時間をかけ、
美しい女体を掻き集めてきた。

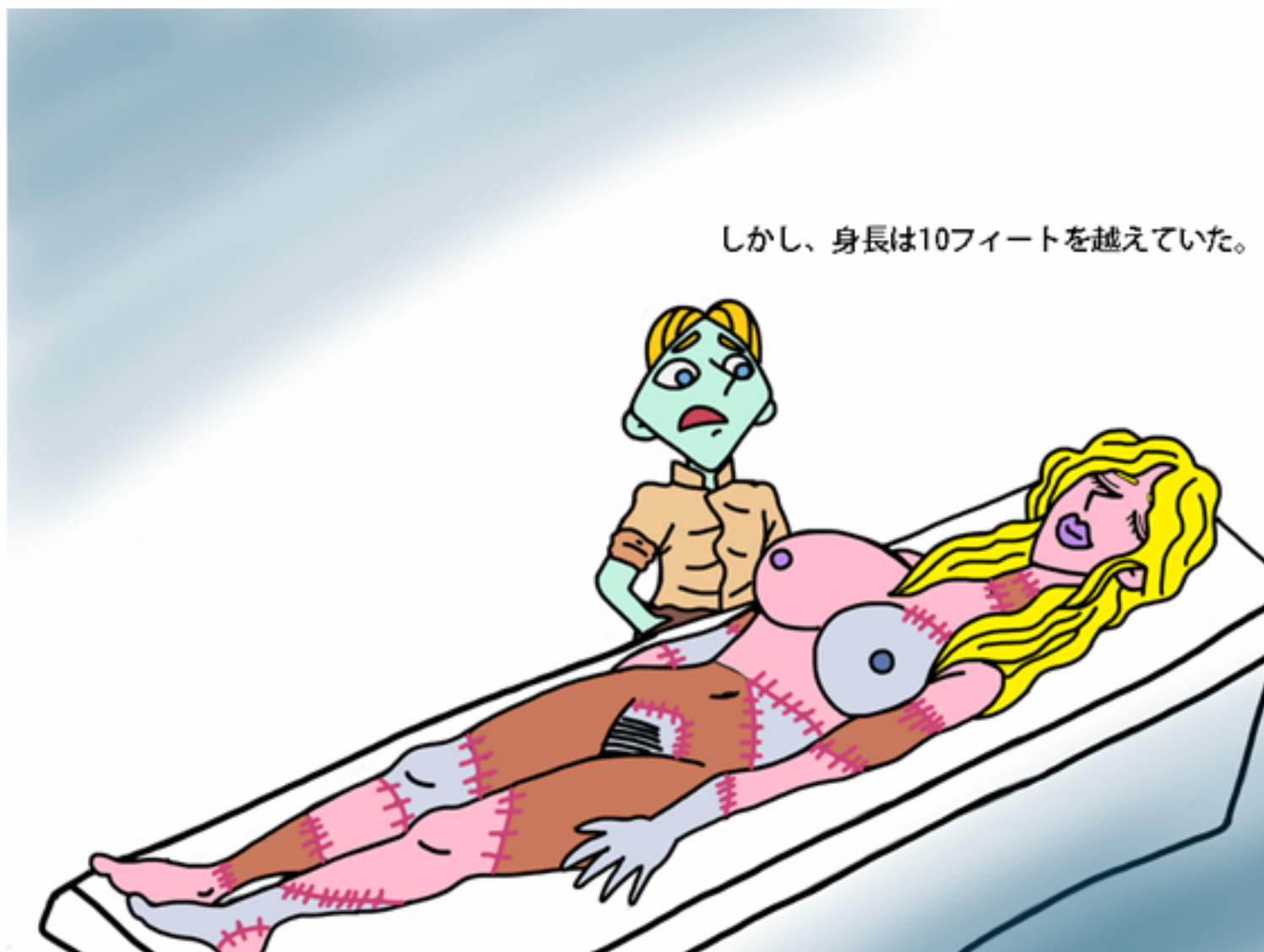


そして、いともたやすく女を創り上げた。

我ながら、ソクッとするようなイイ女だ。



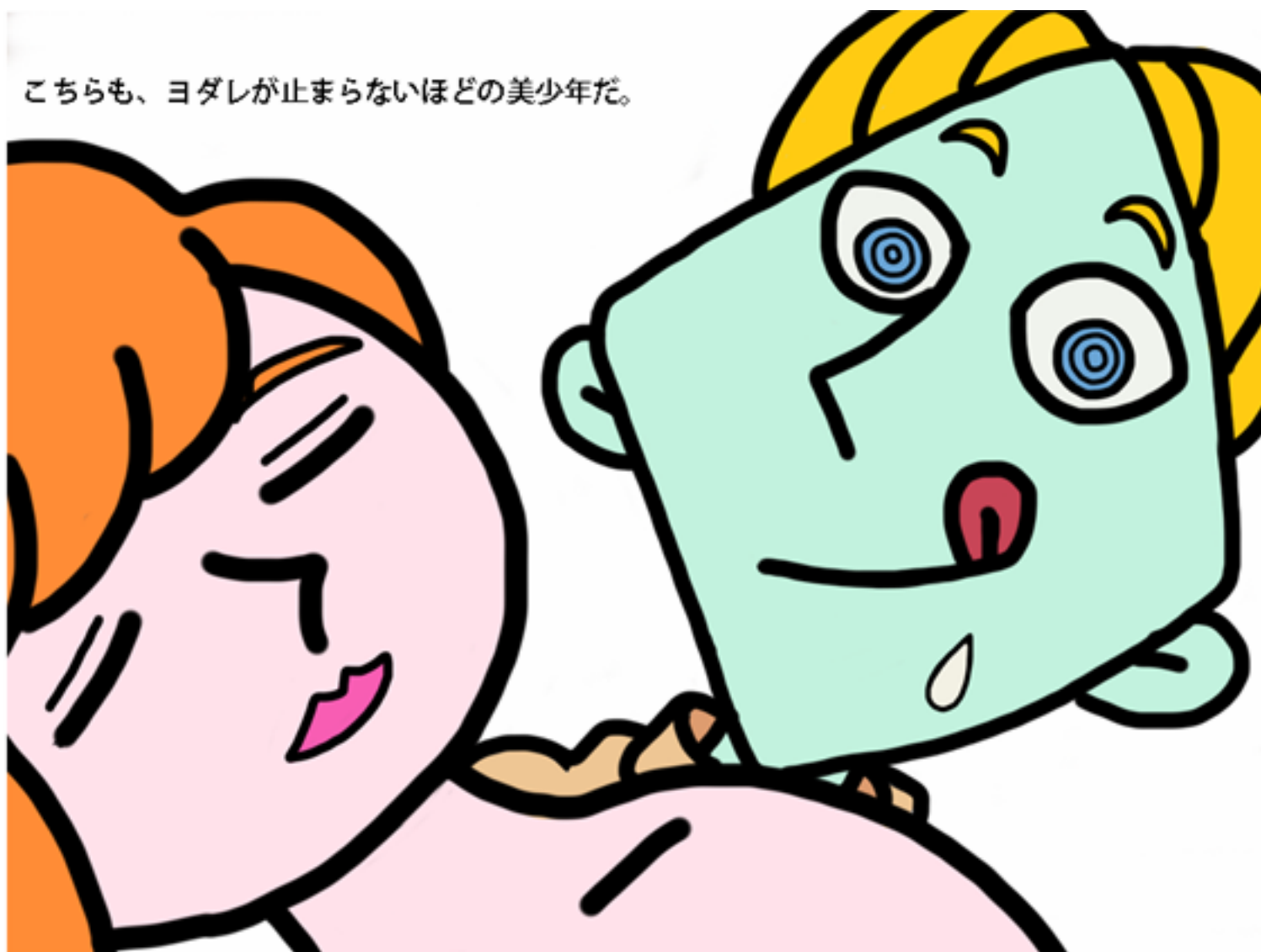
しかし、身長は10フィートを越えていた。





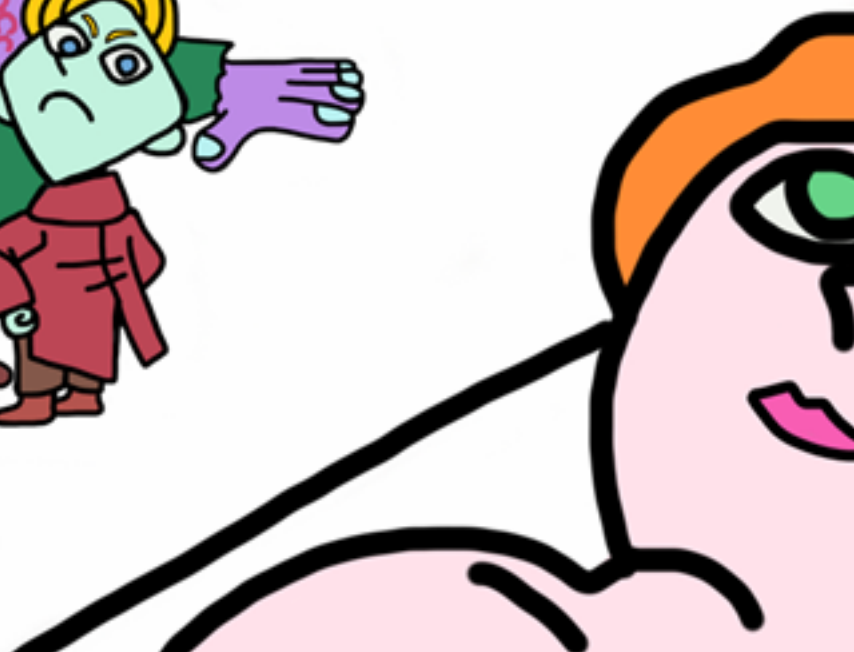
私は女には興味ないから、
もう1体、私のためだけの男を創り上げていた。

こちらも、ヨダレが止まらないほどの美少年だ。

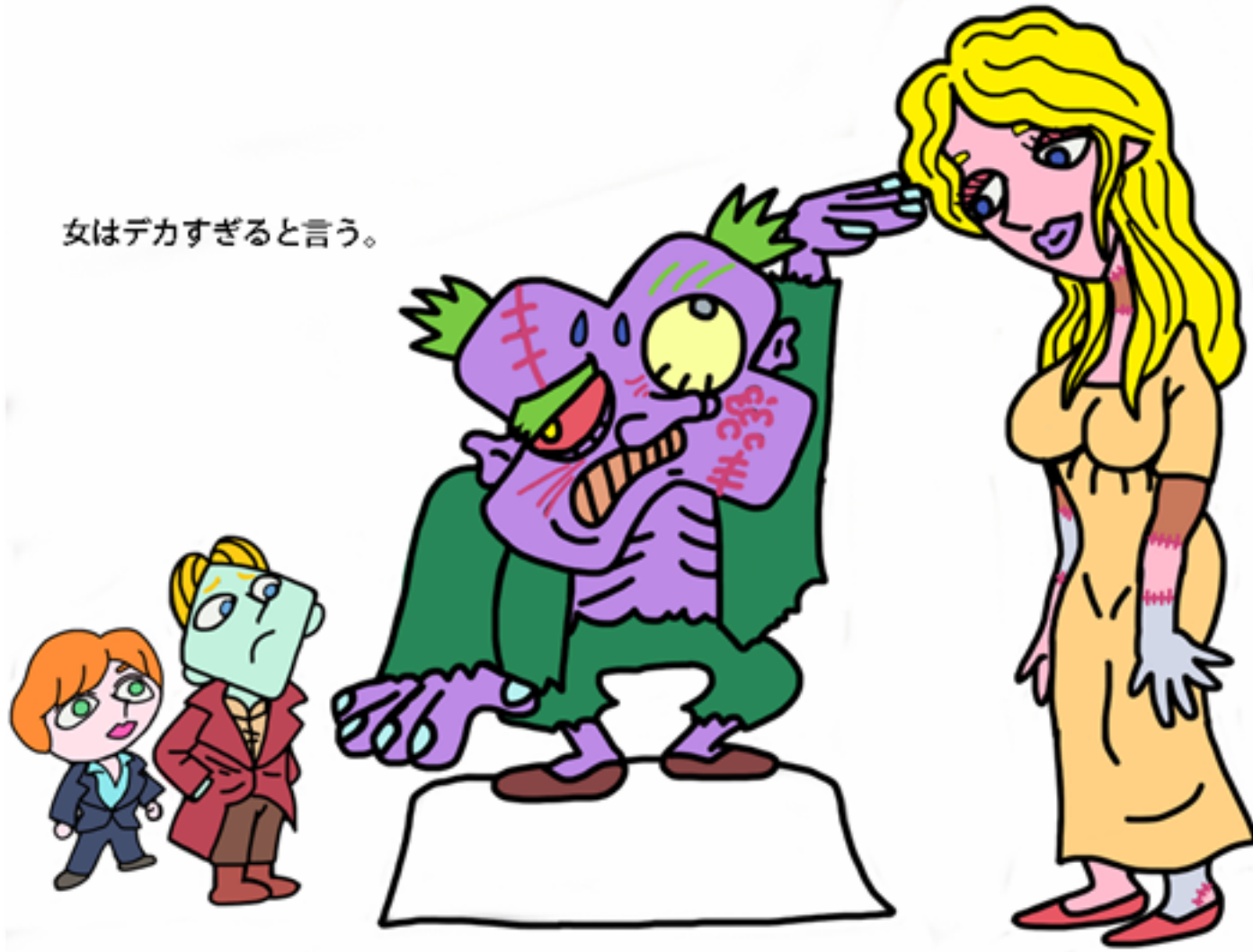




ところが、
事もあろうに彼は美少年を欲しがった。



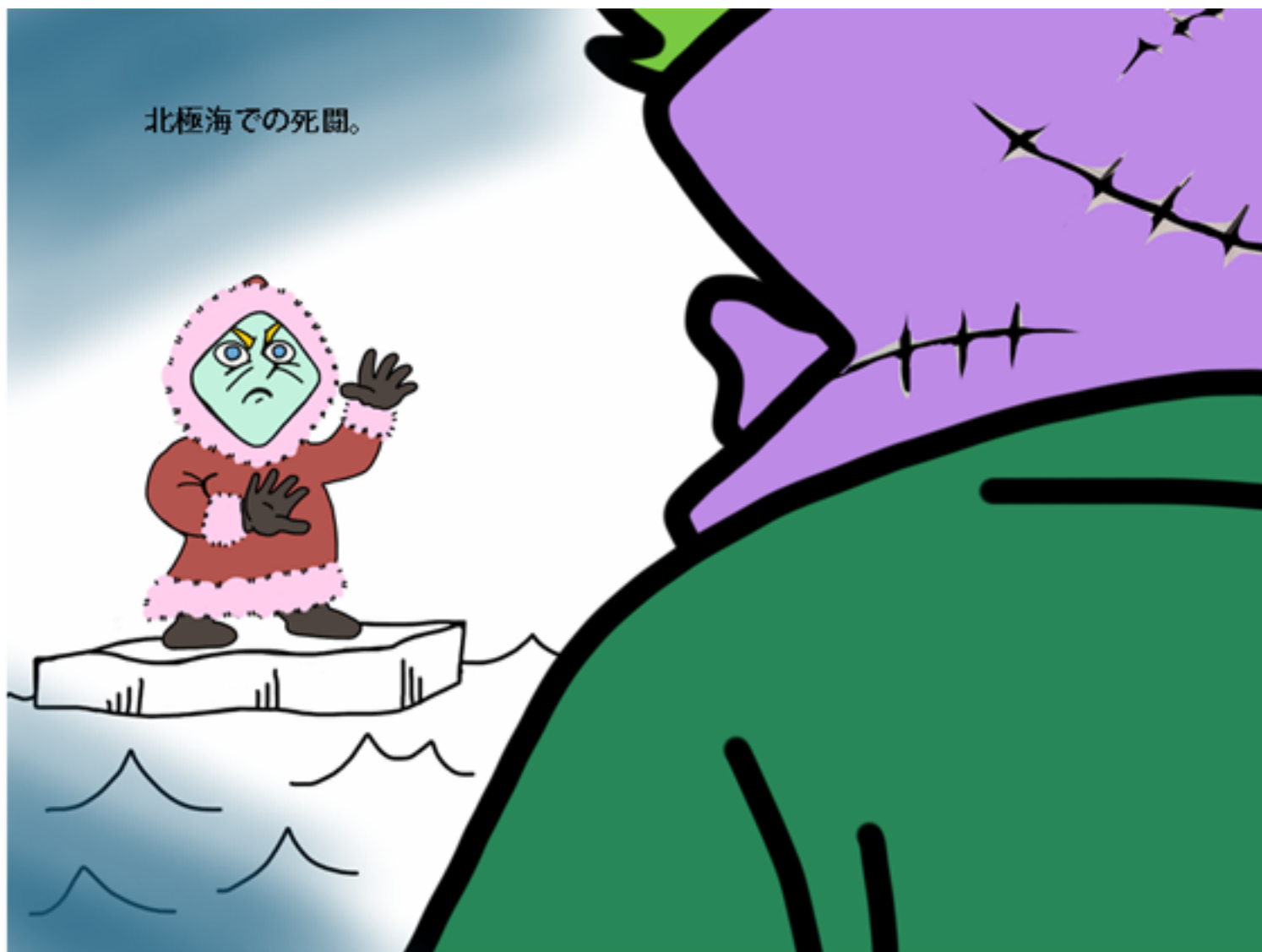
女はデカすぎると言う。



私は彼と戦いを始めた。美少年争奪戦だ。



北極海での死闘。



だが、結果は大女と美少年はデキてしまい、
アフリカへと旅立った。



残された私と彼は、
お互いキスをして同棲するコトとなった。



おしまい

